

各位殿

痛車応援部 事務局長
月刊痛車道 発行・編集人
松永 和浩
sicknesscarroad@gmail.com

この度、痛車応援部（事務局 エレクトロ・イメージング内）とエレクトロ・イメージング月刊痛車道は「痛車応援部 RACING project 2010」と称し、来る7月25日に開催される「ロードスター 筑波サーキットミーティング 2010」（<http://www.bsports.jp/roadster-meeting/>）NC II クラス参戦を皮切りに本格的なレース参戦をスタートいたします。

アニメやゲームのキャラクターを車体に貼りクルマをドレスアップするという「痛車」。いまや欧米を中心に世界から注目される日本発祥のオタク文化であるこの「痛車」を応援していこうというのが「痛車応援部」の主たる活動。具体的な活動の第一弾として、著作権フリーのキャラクター「痛車応援キャラ」を設定し、誰もがこのキャラクターを使えば気軽に痛車を製作できる、という環境を提供。今回のレース参戦はその「痛車応援キャラ 道辺晴美（みちのべ はるみ）」を使い実際に製作された痛車の第一号車でレース参戦をすることで痛車ファン、ユーザー、オーナーを中心に「痛車応援部」の活動を訴え、広がり求めていくことが狙いとなります。



ドライバーはロードスターレース全体として最年少、若干23歳の野上達也。昨年の7月にレースデビュー。そのデビュー戦でなんと2位入賞で表彰台にのぼり、今年は富士チャンピオンレースのNC IIクラスにおいて2戦参戦。優勝、2位という強さを見せ現在富士NC IIクラスのポイントリーダーであり年間チャンピオンも射程内に入ります。そして今回の7月25日のレースから舞台を筑波サーキットに移しロードスター・パーティーレース II シリーズ NC II クラスで上位を目指すこととなります。

車両は野上達也の所有する「痛車道ノプロ jr ロードスター」車番86。メンテナンスはマツダロードスターのチューニングではカリスマ的存在の（有）ノガミプロジェクト。

車体のマーキングは映画ワイルドスピードシリーズなどで車体マーキングを担当する、この分野の巨匠（有）アートファクトリ。

まさにこの分野のドリームチームと言える内容で参戦いたします。ご期待ください。

